■アンケート抜粋

●アニメーションの素材は紙だとばかり思っていましたが、実写や写真、コンピューター等普段あまり見たことのない素材のため、すべて新鮮でした。実験的、抽象的な作品が多く、制作者の主旨があまり伝わらないのもあった。次回は見て楽しめるおもしろいというような、笑いを誘う動きのあるアニメも見てみたい。

(学生・男・市川市)

●1年ぶりに拝見させてもらいましたが、以前よりも分かりやすい作品がふえたようですね。分かりやすさと実験度(?)が適度にまじり合っていて楽しかったです。

(学生・男・文京区)

●まったく何と言っていいか分からない。すごいイメージの乱舞とでも言おうか。私にはすこしついていけない作品も少なくなかった。今回初めてアニメーション80の上映会をはいけんさせていただきましたが、ほとんどの作品が絵よりも、その撮影方法の方にてっしているのにおどろいた。えびせんとはまったく異なったアニメーション上映会だった。 (学生・男・杉並区)

●視覚的アニメーションとしてはおもしろいが、目の悪い私は長時間見ているとつかれてくる……。 (学生・男・小田原市)

●感性をまるのまま出さないでほしい。他人にみせるつもりなら。それが計算ずくならおもしろいけれど、全然計算ずくじゃあなかった…でしょう?お金とるんだもん、その辺よろしく。 (学生・男・杉並区)

☹一部の作品を除いての感想です。

●チラシ、プログラムetc. 映写、進行いつもお手本になります。きちんとしているところがすごいですね。 (?・女・三郷市)

☹めずらしいアンケートです。がんばって上映会して下さいね。

●あきるほど見たコンセプチュアル・シネマ、コーゾー映画(?)の一種が多いと思いました。労力がかかっていると思った。昼間さんのフィルム(注・クリアーバック・プロセス)が「マクロゾーン」を見て期待していただけに、ハラが立ちました。創造的で素朴なところでやっているなァと思えるフィルム…個人の内発するのっぴきならないところでやってると思えるフィルムにめぐり会えず、それはただ単に僕自身の問題にすぎないのですが、個人映画もずい分楽しく、やさしく、スマートなしゅみに成ったもんだと苦笑しております。個々の作品がどーのなど吹っとんでただハラ立たしいFILM体験でした。 (バイト・男・北区)

●アニメーション80の作品群は、みてる方はもちろんのこと、作っている方も、いったいどんな風景(映像)がとび出すのかわからない、そういうふうなところがあるから、とてもおもしろいと思います。私は観ていると、どんどん勝手に(みてる方が)想像力を広げていってしまう悪いくせがあるのですが、それを許してくれるところもすきであります。そういうイミで今回のは上手すぎる分だけあっと驚きが小さかったようにも感じるけど。でも決って上手いのがどーのこーのというのではなく、とても上手くて、すごいパワーのある作品がやっぱり見たいと思います。乱筆ですいません。

(?・女・練馬区)

●今回はキラクに楽しめました。川本さんや岡本さんをつぐ人がでてほしい。

(?・男・?)

●久しぶりの1年半ブリのアニッパチです。パワーがなくなったようで、少し残念です。ピントどーしたんですか。

(学生・男・八王子市)

●えびせんが過去の遺産を食いつぶし、金太郎がまだ未熟な点が多い今、自主制作上映会グループとして、アニメーション80が、東京で唯一期待のもてるものとなりました。これからも精力的な活動をお願いします。それにしても実験映画的な作品はつかれる…。全体にそっけない感じの作品が多いですね…。アイデアが先行しすぎてお客を楽しませることができないのが多かったのですが、いくらか新しい試みがあったようですね。 (学生・男・世田谷区)

☹わかるようなわからないような意見であります。

●「実験映画ごっこ」「アニメごっこ」は見てて嫌になってしまいます。作家にイメージがあるのか!? と思ってしまいます。その点作者(作家)が労力かけたものは好感がもてます。 (学生・男・朝霞市)

●前回よりおもしろかったよう〜。

(?・男・東村山市)

▲チラシ

▲上映会パンフレット

▲案内ハガキ

[第7回上映会]

1983年11月19日(土) 20日(日)
会場—ユーロスペース
(東京・渋谷)

⊙上映プログラム

IKIF			
アニメーション百科	'83	8mm	1'45"
転化 (I)	'83	8mm	2'38"
浅野優子			
鳥たちの棲むところ	'83	8mm	2'00"
飯面雅子			
泡螳螂	'83	8mm	3'00"
十月の林檎	'83	8mm	1'15"
石田純章			
いちにち—砂浜篇—	'83	16mm	6'20"
稲垣貴士			
存在者たちへ	'83	8mm	4'30"
A DAY	'83	8mm	7'20"
大川比呂之			
U-DON	'83	8mm	1'30"
鈴木敬			
KILA	'83	8mm	3'00"
昼間行雄			
夏にクランクイン part 2	'81、2	8mm	8'00"
松井理和子			
「ネコ」をめぐる「ものがたり」	'83	8mm	2'55"
三木仁			
ROTATION	'83	8mm	2'45"
鬼女	'83	8mm	1'54"
峰岸恵一			
Can or Can't	'83	8mm	7'00"
やすのゆうじ			
RETAKE	'83	8mm	4'00"
山崎ゆり			
留流	'83	8mm	2'15"
——ゲスト——			
関口和博			
MANDALA '83	'83	8mm	2'25"
平井淳郎			
étude	'83	8mm	2'40"

■第7回上映会について

〈第7回上映会進行責任　飯面雅子〉

毎回会場探しにはとても苦労するわけですが、「ぴあ」の桂田さんよりの新情報で、(いつも感謝です。) 少々訪ね歩く程度で、最適なところを渋谷に見つけました。だんだん畑の80席、上映会only向けの設備…欧日協会の「ユーロスペース」、オリジナル企画外の開いている時のみレンタルするところです。難点は、ちょっと高めのお値段と駅から近い割にわかりにくい…なんせ1度来たことがある映写担当の人が、迷って一担駅にもどって電話入れたぐらいですから…。そのあと、郵送トラブルのためチラシ出来上がりが、通常の「1ヶ月前に」というのより遅れたのが、つまづきっかけだったのかな。特に記すことが、今までの上映会(東京) で最低動員数を記録してしまったことだから、進行責任のいたらなさがもろ出たという感じ…。

内容については記録映画的な問題作「夏にクランクイン」が、怒りのアンケートにもあるとおり、"アニメーション80の上映会において、実写作品の扱いをどうするか" を再提示したこと。しかしながら、以前コマ撮りしていない作品が初めて出品されたとき、その作品のおもしろさで私は気付かなかったけど…本人が「アニメーション80の上映会に出品したい」ということであればよいのではないか…ということになり、そのままの状態でここまできてしまったのです。これからも各自が思っていること、考えたことでやっていくのかしら。でも、おもしろいのは、「わからない作品ばかりだ」というアンケートの中に「このごろのアニメ80は軟弱化してきてなげかわしい」なんていうのも混じっていたりすることであります。最近、「ユーロスペース」がミニシアターとして軌道に乗ったので、レンタルはしなくなったと聞きました。これから、アニメ80はまた、さまよわなくてはならないのでした……。

P.S いつも印刷でおせわになっているポプルスの皆さま、本当にどうもありがとう。今回また頼ってしまった写植のサンワ企画の門馬さん、ありがとうございます。

進行責任■飯面雅子
チラシ・案内状・チケット■橋本満明
パンフレット■松井理和子＋浅野優子
映写■昼間行雄＋三木仁
会計■浅野優子

■アンケート抜粋

●はじめて、自主製作アニメを観たんですけれど、面白いんじゃないんですかあ…。今後が楽しみですねえ。　(無記名)

●メインたるアイデアは、はっとさせられるものがありますが、その後の展開が発展せず、フィルムが非常に長く感じてしまうものがあります。　(歯科医・男・愛知県)

●長すぎる。　(学生・女・市川市)

●アニメーション80にはいつもがっかりするのですが、今回は500円はらったかいがあった。　(学生・男・国分寺市)

●実験的・前衛に行き過ぎず、かと言って稚せつでもなく、私みたいな素人が来るには調度いいようです。　(?・男・埼玉県)

●総じて意味不明な物が多かったようで。あまり素人の来るところではないようですね。　(会社員・男・秦野市)

Ⓓあのー、し、素人って何なのでしょうか。こう言われると、深く意味を考えこんでしまう…。

●えーと、前回の上映会とはまたちょっとかんじが変わりました。前はすごくビジュアルな、キレイなものが多かったのが、今回はなんか実写が多かったし、「うおー」というインパクトのつよいものはひかくてき少なかったみたい。　(会社員・女・北区)

●アニメーションではない作品がほとんどであった。単なるコマ撮りによる、連続性のない画面がこれほど人を疲れさせるということがよくわかった。

(公務員・男・世田谷区)

●夏にクランク・インはアニメではない!!実写(ライブ)をアニメに入れるなら、アニメーションは何になるのか?ライブ撮りを80のスタッフはなぜ上映したのです。次回からもう80を見ることをやめたい気がします。ゆっくりと作品は情熱をこめて(同時代)制作してください。第6回目より作品クオリティーがダウンしたようです。

(映像作家・男・港区)

Ⓓ「夏にクランク・イン」はだいぶ論議をかもしだしました。80のそれぞれがライブをどう考えているか…むずかしいですね。

●なんだかわからんのがあった。

(学生・男・渋谷区)

●いろんな傾向があってよいですね。

(学生・女・?)

●みなさん、レベルが高くって、全部、楽しめました。　(会社員・男・我孫子市)

●パターン化されたテクニックに挑戦しても無意味です。一部作品にそうした傾向が見られました。　(会社員・男・横浜市)

●今回の方が全体的に明るい感じでよいと思いました。　(会社員・男・柏市)

●ものすごく退屈でいいかげんにしろといいたくなるのや、すごく面白いのやいろいろごちゃまぜで、なかなかユニークです。また頭かかえてしまうことをしりつつも、いつもみにきております。次回期待しております。　(学生・女・武蔵野市)

▲チラシ

▲上映会パンフレット

▲案内ハガキ

▲チケット

[関西第2回上映会]

1984年2月11日(土)12日(日)
会場—神戸学生青年センター
(神戸・六甲)

⊙上映プログラム

I・K I F			
アニメーション百科	'83	8mm	5'00"
転化	'83	8mm	5'00"
回転A B	'83	8mm	2'30"
浅野優子			
月の娘	'83	8mm	4'00"
鳥たちの棲むところ	'83	8mm	2'00"
雨宮慶太			
CLOUD	'81	8mm	5'00"
フィルム　オブ	'82	8mm	4'00"
イラストレーション			
飯面雅子			
二月の彗星	'84	8mm	1'00"
泡螳螂	'83	8mm	3'00"
石田純章			
いちにち	'83	16mm	6'00"
—休みの日には…篇—			
稲垣貴士			
存在者たちへ	'83	8mm	4'30"
大川比呂之			
U-DON	'83	8mm	1'30"
小山佳織			
天空の諸圏	'83	8mm	6'00"
佐々木こづ枝			
VARIMATION	'84	8mm	6'30"
鈴木敬			
KILA	'83	8mm	3'00"
田辺幸夫			
かげ4	'83	8mm	4'50"
橋本満明			
ANMONAITO ILLUSION	'83	16mm	3'20"
ISLAND PART OF EASTER	'83	16mm	6'00"
昼間行雄			
CLEAR BACK PROCESS	'83	8mm	5'00"
松井理和子			
「ねこ」をめぐる	'83	8mm	5'30"
「ものがたり」			
まつばらあつし			
キネマカラーC	'82	8mm	1'30"
三木仁			
FLASH	'83	8mm	3'00"
峰岸恵一			
Can or Can't	'83	8mm	7'00"
はじめて手に入れた車	'83	8mm	4'00"
とのさよなら			
PULSE 3	'83	8mm	7'00"
やすのゆうじ			
RETAKE	'83	8mm	4'00"
山崎ゆり			
留流	'83	8mm	2'30"
渡辺亮			
DANCING	'83	8mm	3'00"
——ゲスト——			
関口和博			
EVE '83	'83	8mm	2'17"
はらひろし			
セメダインボンドは	'83	8mm	10'00"
永遠に			

進行責任■渡辺亮
チラシ・チケット・案内状■
飯面雅子＋浅野優子
映写■三木仁・峰岸恵一
出張メンバー■
渡辺亮
三木仁
田辺幸夫
浅野優子
飯面雅子
橋本満明
峰岸恵一
はらひろし(ゲスト)

■関西第2回上映会について

〈関西第2回上映会進行責任　渡辺亮〉

関西第一回上映会が好評の内に終了したことで気をよくしたアニメーション80は、84年も関西において上映会を行なうことを決定した。前回の上映会で問題になったキャパシティのことや、会場の予約といった点を考慮に入れて、この時は会場を神戸学生青年センターとし、又第1回上映会が1度の上映会であった点を反省して2日間2回の上映とすることにした。

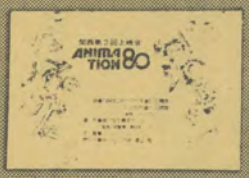
この時の関西第2回上映会では、83年度にアニメーション80の第6回上映会と第7回上映会で上映された作品群からのセンクションを上映したが、83年度のアニメーション80は、雨宮慶太・稲垣貴士・佐々木こづ枝・橋本満明・三木仁といった5名の新メンバーを加え、よりいっそう充実した発表会を催している。雨宮氏と橋本氏は阿サ美の出身で関口氏の紹介により入会した、関西ではセルアニメーションを発表している。稲垣氏はＩＫＩＦの紹介で入会したが彼は九州芸工大出身で松本俊夫氏や伊藤高志氏の作品の音楽を作ったりしているが、関西では構造的な作品を出品した。佐々木こづ枝さんは芸大大学院に在学中で飯面さんの紹介で入会した。彼女は六角形という形体を中心題材とした作品を出品している。三木仁氏はＩＫＩＦの紹介で入会したが、東大に在学中で実写を素材とした作品を出品した。また他のメンバーもこれら新しいメンバーに刺激を受けつつバラエティーに富んだ作品を発表し、関西第2回上映会は非常に魅力あふれた作品群となっている。

またこの関西第2回上映会では、東京地区で上映活動をしている「グループえびせん」のメンバーである、はらひろし氏が特別ゲストとして参加することになった。これは、はら氏にアニメーション80が神戸で上映会を行なうことを話したことがきっかけで、はら氏より彼の作った「セメダインボンドは永遠に。」で協力してくれた作曲家の実家が神戸にあり、ぜひ参加したいとの希望が寄せられたことによる。はら氏は、この当時名古屋で歯科医として活躍していたが上映会当日は仕事を休んで会場に駆け付けていただいた。この上映会でもH・A・Gをはじめ大学のアニメ研の方々には協力をいただき感謝にたえない。

■アンケート抜粋

●かなり全体的に完成度が高かったです。
(学生・男・高槻市)
●洗脳映画だ！などと言っている奴がいた。ぼくじゃないよ。 (無記名)
●いつも思うのですが、実験映画(的)なのが多いですね。本来Animationというのが一つの手法にすぎないのであるから、それは仕方ありませんが、そろそろ実験映画の域を脱したものを観てみたいものです。
(高校生・男・京都市)
●イメージを表現した抽象的な作品が多くてしんどかった。やはりストーリーのある作品の方が取っつきやすい。
(学生・男・灘区)
●印象に残った作品はいっぱい。今夜、ゆっくり余韻にひたって、幸せいっぱいで眠れそーです。こーゆー気分はひさしぶり♡(男の書く文章か！) (無職・男・？)
Ⓓ上のかっこ内は本人が書いたのである。
●(私には)おもしろいものが少ない。でもあるにはあった。(私には)なぜおもしろくないかというと、私の考えるところの内容に動きがないから…。 (学生・男・灘区)
●セメダインボンドはメシ食ってる間にチョコパフェが出てきたよーなもので、一番ラストにするとかしてほしい。途中にまぜるとつかれます。一本ずつゆっくり見たかった。 (会社員・男・豊中市)
Ⓓやはり特別ゲストのセメダインボンドは大受けでした。順についてはパンとパンにはさんだジャムと考えてみたんですが…。
●私に製作側の意図が伝わらないものが、ほとんどでした。次回はわかりやすい楽しめる作品を期待します。
(会社員・男・西宮市)
●この世に生をうけて、ん十年、今までアニメーションとはイラストレーションを重ねたモンかと思っておりましたが、今日認識を新たに致しました。
(アルバイト・女・箕面市)
●もっと笑いたかった。
(高校生・男・豊中市)
●ねむたくなってこまった。しかし、こういう上映会は初めてなので、十分楽しんでいる。明暗の差がはげしくて正視にたえぬものもあったが、おおむね面白いものぞろいだった。 (学生・男・京都市)
●さすがにレベルが高いが、抽象的すぎるものは疲れるし、(ねむい) やたら画面がちらつくのは目がしんどい。セメダインボンドはやはりおもしろい。
(学生・男・寝屋川市)
●視覚的効果は大変すばらしいと思いますが、あまり思想的になりすぎて、絵が動くという単純で純粋で素直な感動があまり感じられませんでした。 (学生・男・灘区)
●皆さんお若い！アニメーションって何なんでしょう。感覚だけってのもものたりない。セメダインボンドが一番面白かった。
(？・女・大阪市)
●アイデア、努力に感心いたします。こーいう上映会をみると、自分でつくろーという気になるんですが、なかなか暇がなくしばらく作っておりません。がんば、がんばです。 (学生・男・神戸市)
●テーマがほしい。 (高校生・男・大阪市)
●意外な発想の作品が多かった。商業アニメに慣れた目には新鮮にうつる。
(高校生・男・灘区)
●みんな寝っころがって見る上映会を1度やってください。 (学生・男・羽曳野市)
●一人よがりの作品がなくなってきましたね。みんな1アイデアにしぼりこんでいてわかりやすい作品が多かったです。
(Gデザイナー・女・住吉区)
●もう少し漫画アニメーションがほしかった。 (高校生・男・神戸市)
●説得が弱い。アニメの実験映画が多くて非常に面白かった。 (無記名)
●たいへん高水準の作品ばかりでしたので、十分に楽しめました。
(サービス業・男・京都市)
●アニメーションていうのはアニム＝生命をふきこむことだと思います。本来動かないものを動かすところがおもしろいと思うのですが、動くものをわざわざ止めてフラッシュ的に見るのはたいくつです。なまいき言ってすみません。 (学生・男・大阪市)
●私はいつも「えんたてめんと」を信条としているんですが、時々はこういうのを見ないとネ。 (学生・男・灘区)
Ⓓ時々はこういうの見てくださいネ。

▲チラシ



▲案内ハガキ

[第8回上映会]

1984年5月12日(土)13日(日)
会場—ユーロスペース
(東京・渋谷)

⊙上映プログラム

IKIF			
アニメーション百科	'84	8mm	2'00"
AFTER IMAGE-PORTRAIT	'84	8mm	2'30"
CAMERA OBSCURA 3	'84	16mm	5'00"
浅野優子			
花粉	'84	8mm	8'30"
飯面雅子			
Noctiluca	'84	8mm	4'00"
伊藤有一			
らいく あ らいふ	'84	8mm	4'00"
稲垣貴士			
COUNTER FRAME	'84	8mm	3'00"
大川比呂之			
イダム	'82	8mm	4'00"
トラウマ	'82	8mm	2'00"
佳織			
モスラ	'84	8mm	1'30"
佐々木こづ枝			
VARIMATION	'84	8mm	6'30"
柴田良二			
24±	'82	8mm	2'00"
RAYGUN	'84	8mm	3'00"
CCC	'84	8mm	3'00"
田辺幸夫			
高き空より	'84	8mm	1'30"
橋本満明			
SCAN	'84	16mm	3'00"
昼間行雄			
メトロポリス	'84	8mm	6'30"
まつばらあつし			
CINEMA COLOR D	'84	8mm	3'00"
三木仁			
Fading AWay way	'84	8mm	2'50"
Jinja	'84	8mm	2'30"
峰岸恵一			
SITUATION 1	'84	16mm	2'00"
やすのゆうじ			
灯	'84	8mm	1'43"
ぐうにゅ	'84	8mm	1'10"
A by prodact 2	'84	8mm	2'30"
山崎ゆり			
死留流	'84	8mm	3'00"

■第8回上映会について

〈第8回上映会進行責任　田辺幸夫〉

第8回上映会は、1984年5月12日と13日、渋谷のユーロスペースにて行なわれた。進行責任になったので、大変だなと覚悟していたが、思っていたほどの苦労もなく、うまく運営できたと思う。

上映日は初め5月の下旬の土・日曜を希望していたが、クセナキス来日で、ユーロスペースの方と調整がつかず、やや早い上映日となってしまった。このため作者達の作品制作にもいくらかの影響があったのではないかと思う。

宣伝の方は、予想以上にうまくいった。「ぴあ」と「シティー・ロード」には、新作紹介欄にも掲載され、そのせいもあってか初めて200人を超す入場者を記録した。特に12日の上映会では立見で会場が一杯になり、私達の方が驚いてしまった。

上映作品については傾向としては実写作品が多かったと記憶している。この傾向は以前からあったが、これまでオーソドックスなアニメーションを制作していた、浅野優子の「花粉」や飯面雅子の「Noctiluca」等、実写作品を発表したために、一段と実写が増え、いわば「アニメーションもある'80」という感じになってしまった。しかし、アニメーションというものを意識して作られているので上映してもかまわないとは思っている。

また割と長い作品が多く、特に12日のプログラムでは「花粉（8分）」、「Noctiluca（6分）」、「VARIMATION（6分30秒）」と続いてしまったため、見る側としてはちょっと大変ではなかったかと思ったので次の日は一部プログラムを変更した。

この様な傾向に対して、観客の反応もいろいろあったが、やはり不満も多かったようで、アンケートにも実写が多いと書かれた人が多かったが、それでも思いのほか、評判はわりと良く、あまり酷評は見あたらなかったと思う。またこの上映会の記事が美術手帳に載った。

全体的な印象として、ややパワーダウンの感は否めなかったが、思うに作者達は独自の表現を模索している過程であり、必要以上にアニメーションに固執しないで制作しているので、この様な結果になったのではないかと思う。

とにかくほとんど無難に上映会を進められたのでよかったと思っているが、それでも上映会が終った時は疲れで熱を出してしまった。

進行責任■田辺幸夫
チラシ・チケット・案内状■大川比呂之
パンフレット■小山佳織＋山崎ゆり
映写■山崎ゆり＋浅野優子
会計■浅野優子

■アンケート抜粋

●一つも楽しめる作品が有りませんでした。作り手の方々が自由な発想の下に映像をお作りになった事は良く判るのですが、自ら何かを伝えるという「発言権」を放棄されておられる様にも思えました。抽象表現も結構ですが、抽象された基の対象が何であったか私には判りかねるものばかりでした。又〝尻切れトンボ〟ばかりで雰囲気映画＝BGVとしても今一歩だと思いました。
何度もタメ息をつき、時計を気にして思わず帰りたくなる様な作品を作らないで下さい。　(18才・男・荒川区)

●長期間この活動を続けていることは、大変意味のあることです。今後より個性的な作品が出現することを望んでいます。
(22才・男・立川市)

●アニメーションと限定できない…新しい映像もあったので、グループ名を考慮した方が対外的に良いと思います。
(22才・女・川崎市)

●いつからANIMATION80って実写になったんですか？　(19才・男・神奈川県)

㊟今回はいつもにもまして実写っぽい作品が多かったので、上の2つのような意見がいくつかあった。また次のようなのも。

●今回は、これまでの出品者が発想をかえて新しい試みを加えているので、なかなか見ごたえがありました。あいかわらず観客にフェイントをかけてくる人がおりますな。(中略)やっぱりアニメ80には刺激的なものを期待してしまいます。アニメと言いながら、アニメに限らずに。(18才・男・中野区)

●実験アニメ中心の会だとはわかりますけど、もうすこし見ておもしろい（いろんなイミで）ものを目ざしてもよいのではないでしょうか。同じもののくり返し、くり返しの作品が多くて見ている方の忍耐をためされているような気もしました。実験のための実験アニメを目ざしているのでしょうか。(それなら別に良いですけど）別に決してけなしている訳ではありません。
(19才・女・小金井市)

㊟こうしてアンケートを読み返してみるとやたらと目につくのが「実験」という言葉です。たいていは否定的に使っている様です。ちなみに私は「実験」というと試験管を連想してしまいます。

●今回の上映会は（作品についていえば）やっぱり80だなあ、という作品が多く、又80にしてはイマイチという感想でした。
(26才・男・世田谷区)

●とてもおもしろいのやなんだかわからないのがあったけど、よかったと思います。
(16才・女・横浜市)

●「モスラ」(佳織作)…幻魔大戦という石森章太郎の古いマンガになんとかタイガーとかいう悪い奴が出てくるのですが、その人はカベの中を自由に動きまわることができるのです。　(22才・男・板橋区)

●今までで一番おもしろかった。
(28才・男・品川区)

●死を命ずる。ちゃんと自分で死ぬこと。
(ミスターX)

㊟今回のアンケート大賞です。

●いつもよりおちついているようですよ。とくにいんばくとがたりないんじゃない？今まではつくる人のえねるぎいがかんじられたけど…？これからきたいします。
(2ダース・男・横浜)

●CGアニメはややもすると自己満足に終り、手法の目新しさのみにとりつかれ、使いこなしていない作品が多いのです。でも佐々木さんのVARIMATION、陽気にBGMにのり楽しく錯覚させ抽象世界をよく視覚化したと思います。　(38才・男・埼玉県)

㊟すいません。佐々木こづ枝「VARIMATION」はCGではありません。

●なんてオーソドックスなアニメがひとつもないの？もっと基本に忠実に演出のしかたもくふうした作品をつくった方がよいと思います。ストーリーも入れた方がよい。せっかく撮影の技術があるのに身になってない！（あんまりこんなこと書きたくないが）　(21才・男・渋谷区)

●パフォーマンスもおもしろいけど、もう少し正統派のアニメーションがあってもよかった。(もっとも私はその定義はできない。)
(19才・男・こうきょ)

㊟パフォーマンスとはIKIF「AFTER IMAGE——PORTRAIT」のことと思います。

▲チラシ

▲上映会パンフレット

▲チケット

[第9回上映会]

1984年12月1日(土) 2日(日)
会場—アンテナ21 THE AIR
(東京・渋谷)

⊙上映プログラム

IKIF			
アニメーション百科	'84	8mm	2'00"
SCRIBBLE BOARD	'84	8mm	3'00"
乱 PART 2 復活編	'84	16mm	3'00"
PRYMARY COLOR	'84	8mm	6'00"
浅野優子			
時の舞踊をもう一度	'84	8mm	5'00"
浅野優子＋まつばらあつし			
竹桃火	'84	8mm	4'00"
飯面雅子			
星の降る夜	'84	8mm	3'00"
石田純章			
予感	'84	8mm	6'00"
大川比呂之			
イダム3	'84	8mm	1'55"
黒坂圭太			
変形作品第2番	'84	8mm	28'00"
柴田良二			
CCC-2	'84	8mm	4'00"
鈴木敬			
SCHEMA	'84	8mm	2'00"
田辺幸夫			
かげ2	'84	8mm	3'40"
土佐尚子			
MASK	'84	8mm	5'00"
昼間行雄			
STRUCTURE	'84	8mm	6'00"
三木仁			
Conection	'84	8mm	4'00"
覆面作品	'84	8mm	2'30"
峰岸恵一			
フィルム・キャンバス	'84	16mm	15'00"
やすのゆうじ			
不思議な飲みもの	'84	8mm	2'00"
Endless Line	'84	8mm	3'00"
山崎ゆり			
しんねん	'84	8mm	2'00"

■第9回上映会について

〈第9回上映会進行責任　浅野優子〉

この回で苦労したことと言えば、何といっても上映会場探しでした。まずは、7回目、8回目と使ってわりと評判の良かった渋谷のユーロ・スペースをと考えたのです。が、問い合わせてみると予定していた期間はびっしりロードショーがはいってててダメ。それで、キャパ、使用料金、上映しやすい所と考えて、下北沢の鈴なり壱番館に決まりました。やっと決まったと一息ついていたのですが、何と上映会前2ヶ月位になって突然鈴なり壱番館が閉館ということになってしまったのでした。もちろん会場がなくなってしまうわけだから、上映会はできないという事です。またもやさまよえるアニメーション80は、会場探しというわけで、結局、出来たてのアンテナ21に落ち着いた次第です。

アンテナに決まる前に、いくつかあたってみたのですが、そのうちのひとつ、明大前の某貸スペースには、1度見に来て下さいということで、私が1人で見に行きました。まず、駅から少し離れているので、道がよくわからない。夜だったし、だんだん人気がなくなって住宅街の様なところを1人でウロウロするのは、なかなかぞっとするものです。何とか場所がわかったのですが、そのスペースというのが、喫茶店の地下。お店の外観はツタのからまる洋館風なのですが、今は営業してないらしく中はガランとしてました。そういう建物が暗い人気のない道にぽうっと建っているのだからまた不気味です。そこで何人か人に会いましたが、何となく私は、松本俊夫の「薔薇の葬列」を想い出してしまった。60年代してましたね、全体の雰囲気が。

結局、交通の便も悪いし、日にちもうまくとれず、そこはやめたのですが、あのときの経験は何だか夢のようにふわっとしていて不思議です。タイムスリップしたみたいです。——話がすっかり上映会とは関係ない方向へ行ってしまった。ごめんなさい。

さて、アンテナ21のホール"THE AIR"で上映会をすることになったのですが、ここは8㎜の映写をするのに適切な場所とはいえず、ちょっと大変でした。映写室にした中2階は梯子がないと登れず、狭い上に、いろいろ物を置いてますます狭く、天井は低くて立てない為、はいまわるという感じでした。高所恐怖症および閉所恐怖症の人は映写係ができない！といったところ。映写係の人達ほんとうにご苦労さまでした。

進行責任■浅野優子
チラシ・チケット・案内状■山崎ゆり
パンフレット■まつばらあつし＋小山佳織
映写■伊藤有一＋三木仁＋木船徳光
音響■柴田良二
会計■山崎ゆり

■アンケート抜粋

●視覚的な面で楽しめた。が、ちょっとテーマがわかりずらかった。違和感が多少あった作品もあった。が、それがまたよかった。つかみどころのない作品もあった。全体的に、抽象的だった。(中略) このような上映会を、これからももっと続けてほしい。中断しないように。 (17才・男・江戸川区)

●上映は、もう少しちゃんとやった方がいいと思います。作品まで悪くみえます。
アマチュアアニメ全体の傾向かと思いますが、画面がチカチカするものが多過ぎると思います。(目が痛いです。)それと手描きでないアニメ(手でアニメートしないアニメ)がとかく長くなる傾向がある様です。いかに楽に作れるかを暴露している様なもので、何の効果もないと思います。(中略) 短くするだけでも、10倍もすばらしくなりそうな作品はごろごろある様に思います。あるいは技法の使い方をもうひとひねりすれば。
(23才・女・?)

●感覚が追いついていかない作品が多かったけれど、これが本当の個人制作の味なのでしょうから、いいんじゃないでしょうか。(中略)個人作品って、その人の世界を表現するものだから、よい悪いなんて言えません。いいかげんな感想ですいません。
(19才・女・川崎市)

●今回初めて見ましたが、おもしろかったので次回の案内もおねがいします。
(27才・男・杉並区)

●目がつかれました。機械がつくったようなのはやらないで下さい。本質的な意味で肉感的なものが欲いです。わたくしは一。
(25才・女・大宮市)

☺今回のアンケートでは、最初に上映した黒坂圭太「Metamorphosis No.2」に関する意見が目立ったので、いくつか紹介します。

●自分でもよくわからないが何故か楽しめた。移り行くスクリーンの中にいろんなパターン、というより具体的な顔、群衆、シルエット、風景等が見えた。ロールシャッハしてしまった。28分はしんどい。
(23才・男・豊島区)

●かなり目が疲れたけれど、その強い個性に圧倒されました。すごい「もの」を持っていると思います。 (26才・女・西宮市)

●ふざけんじゃねーよ。こんなもん見に来たんじゃねーんだぞ。作ったヤツのカオがみてーぜ。バカバカ……バカヤロ——死ね。
(20才・男・松戸市)

●1番初めと最後のやつ (注・峰岸恵一「フィルム・キャンバス」)はつくったやつをしめころしてやりたい!あんなものは5秒もやればじゅうぶんだ。おれはおこったぞ!
(30才・男・大宮市)

●真夜中、放映終了後のTV画面をじっと見てみると、時として意味ありげなパタンをみつける。分子の振動、爆発の中心、恋人たちのキス、崩れる岩壁…。イメージは無限ですか? (23才・男・三郷市)

●Metamorphosis NO.2が一番よかったです。
(27才・女・芦屋市)

●独創とかそんなのに目もくれずに、自分の世界をつきとおして1つの作品を存在させてしまうエネルギーは、何物にも代えがたいと思いました。
内面のドロドロしたものに興味を持っている人の作品に出会いたい。なんかどっか恥ずかしがっている様な気がする。それともみなさんが育ちが良すぎるのだろうか。(スミマセン) こういう時代なんだろうか。優等生を前にすると私が開放されなくなる。そういった意味で唯一、やすのゆうじさんの「エンドレス・ライン」は、ドキドキさせられました。 (無記名)

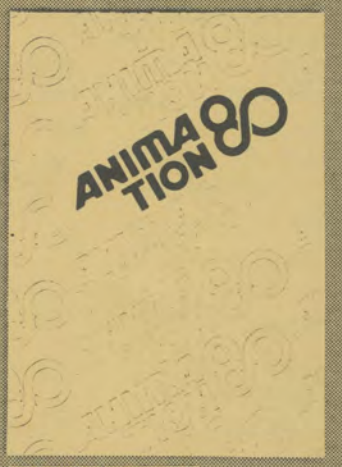
●あのー、12回めの上映会、招待して下さると嬉しいのですが…。1回欠席してるんで、11回めでちょうど10回みたことになりますので、10回みたら1回なんて…やっぱりずーずーしいですね すいません 忘れて下さい (23才・女・世田谷区)

●作品を作る前に、デッサン力を身につけたほうがいいと思います。
(20才・男・中野区)

☺ごもっともでございます。

●はっきり言って、無教養、純感(鈍感?)、無邪気の三拍子がそろわなければつくれないようなフィルムが多過ぎると思う。
(無記名)

▲チラシ



▲上映会パンフレット